

株主・投資家の皆様へ

第12期  
中間事業報告書

平成15年1月1日から  
平成15年6月30日まで



**siix**  
We care.

シークス株式会社

CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業概況	2
グループ経営戦略	3
トピックス	4
中間連結財務諸表	5
中間単独財務諸表	7
株式の状況	9
会社概要	10

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに第12期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。  
当中間期におきましては、イラクへの軍事行動と新型肺炎SARSの大流行という二つの大きな出来事がありました。いずれも長期化した場合の世界経済への悪影響が懸念されましたが、幸い比較的短期間に終息したことから、消費者や企業の心理は回復してきております。  
当社のコア事業でありますエレクトロニクス業界におきまして、近年中国を中心とするアジアへの生産移転が急速に進んでいることから、SARSの影響は少なからずありましたが、海外生産・海外調達増強の基本的なトレンドは変わっておりません。当社といたしましても、昨年から進めておりますタイ、中国など主力工場の整備増強を予定通り進めながら、製造(EMS)機能を活かした電子部品・部材・完成品の物流事業を引き続き推進してまいりました。その結果、情報機器、車載関連などを中心に売上高は計画を上回ることができましたが、SARSの影響もあり、携帯電話用液晶関連ビジネスの立ち上げの遅れなどを主因として、利益面では遺憾ながら当初予想を下回る結果となりました。

下期にはこの遅れを最大限挽回するとともに、好調に推移しております車載関連などの分野での一層の営業強化と業務の効率化をはかり、皆様のご期待に応えるべく努力をしておりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成15年8月

代表取締役会長兼CEO  
村井 史郎



営業概況

当中間連結会計期間における、当社グループの主要顧客である日系エレクトロニクス業界におきましては、国内向け・輸出とも液晶テレビ、PDP、DVDプレーヤー、デジタルカメラなどのデジタル機器、携帯電話などの電子機器ならびに関連部品の出荷が堅調に推移しており、カーナビゲーションシステム、モーターなどの自動車関連電子機器・部品が世界的に見ても新たな分野として成長しつつあります。しかしながら、長引くデフレの中で各分野とも製品価格の下落傾向が続いており、製造・物流コストの削減や海外市場での販売拡大のために中国、タイなど海外への生産移転の動きがますます進行しております。  
こうした情勢の中で、当社はメーカーの海外生産・海外調達をサポートする部材物流・EMS事業を引き続き拡大するとともに、情報通信及び車載関連分野を成長分野と位置付け、携帯電話用部品・デバイスや車載用機器・部材の販売及びEMSなどに重点を置いた営業展開を行いました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は473億3千4百万円となり、前中間連結会計期間に比べ、35億7千1百万円の増加(8.2%増加)となりました。利益面では、売上総利益率が比較的高い欧州向け携帯電話液晶モジュールの売上高の減少、減価償却費負担の増加、携帯電話用半導体の設計・開発費用の増加等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は2億4千5百万円となり、前中間連結会計期間に比べ、3億1千6百万円の減少(56.3%減少)となりました。また為替差損の改善により、経常利益は1億4千5百万円となり、前中間連結会計期間に比べ、5千3百万円の減少(27.0%減少)となりました。また特別利益として、厚生年金基金代行部分返上益を1億4千1百万円計上しまし

たが、一部の子会社の赤字と受取配当金にかかる税負担の増加により、1億8千7百万円の中間純損失を計上することとなりました。事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

電子部門

当社グループのコアになる部門で通信機器、情報機器、家電及び産業機器、車載関連機器、一般電子部品・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装、部品単体・キット等の領域を幅広くカバーしております。この部門では、携帯電話用液晶モジュールの出荷が減少しましたが、スキャナーやデジタルカメラの半完成品の出荷が大幅に増加したため、当中間連結会計期間の電子部門の売上高は422億6千3百万円(前年同期比11.1%増加)となりました。また営業利益は8億6百万円(前年同期比20.0%減少)となりました。

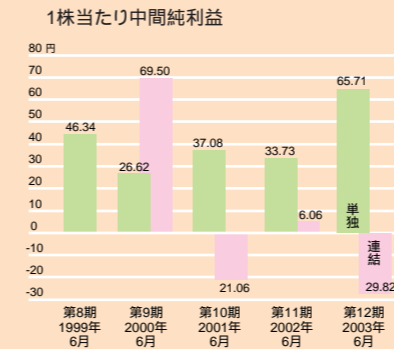
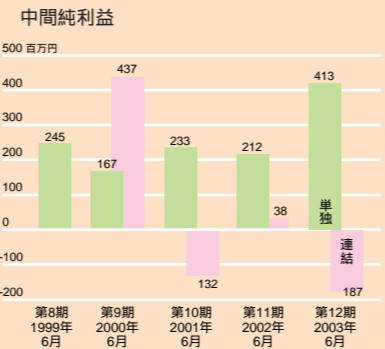
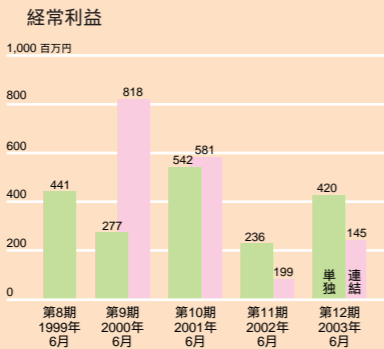
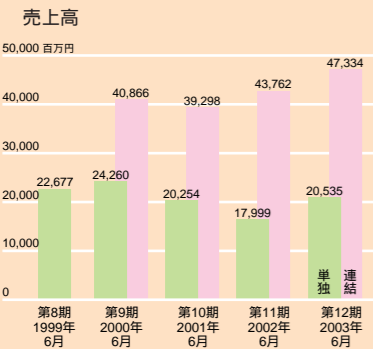
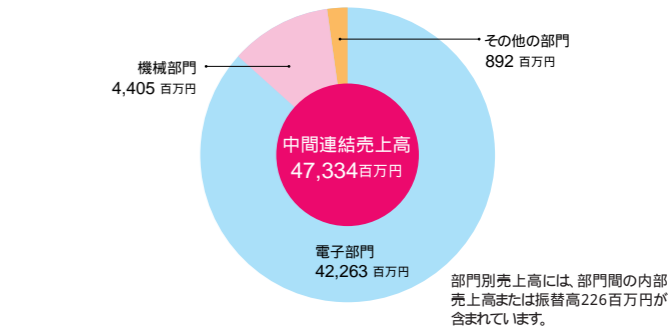
機械部門

オートバイ用部材、自動車用ワイヤーハーネス部材、空調機器、設備機械等を取り扱っておりますこの部門は、オートバイ用部材の出荷が減少したため、当中間連結会計期間の売上高は44億5百万円(前年同期8.5%減)となりました。また営業損失は1千万円となり、前年同期と比べて4千3百万円の減少となりました。

その他部門

フロンガス、合成樹脂、印刷インキ、化成品等を取り扱っておりますこの部門の、当中間連結会計期間の売上高は8億9千2百万円(前年同期比4.2%減少)となりました。また営業利益は5千9百万円(前年同期比53.4%増加)となりました。

部門別中間連結売上高構成



2000年6月期連結の数値は参考であり、監査法人の監査を受けておりません。

## グループ経営戦略



### 経営の基本方針

市場のグローバル化や構造的変化にタイムリーに対応できる企業経営が求められる中で、調達・製造・販売等あらゆる面でグローバルに経営資源を配置・活用することが業種を問わず経営の重要課題になってきております。当社グループは、このような企業の新たな課題解決を支援することを企業目的とし、永年にわたり手がけてきたエレクトロニクス関連分野を中心に、「世界に点在する様々な

ニーズを自在にコーディネートし、顧客に具体的なビジネスメリット(顧客価値)を提供する『グローバル・ビジネス・オーガナイザー』たることを事業の基本方針としております。こうした企業活動を通して「世界のリソースの有効活用を追求し、社会システムの活性化と人類の進歩に貢献すること」を当社の企業理念としております。

### 経営戦略と対処すべき課題

世界的な低成長・デフレ傾向が続く経済環境下で、当社グループのコア事業であるエレクトロニクスの分野においては、アジアに重点を置いた製造の国際分業とマーケット開拓の動きが進んでおります。この傾向はますます強まるとの基本認識のもと、アジアを中心にグローバルに配置した当社グループの拠点網と調達・物流ノウハウを最

大限に活用して、メーカーの海外展開のあらゆる段階で発生するニーズをビジネスチャンスとして取り込み、当社の事業拡大に繋げていく所存です。

当面の経営課題は以下の点であると認識し、取り組んでおります。

#### 重点取組み分野 - 情報通信、車載関連

デジタル家電、多機能携帯電話、AV機能つきパソコン等に見られるように、情報と通信が各種の電機・電子機器或いはサービスを融合し、エレクトロニクス分野をリードしていく時代にはなっております。また、自動車の分野でも電子制御化が急速に進んでおり、同時に車載端末を通した情報サービスも始まっております。当社はこうした方向性を踏まえて、通信・情報、車載関連分野を重点分野と位置付けて取り組んでおります。

#### デバイス、モジュールビジネスの強化

情報通信の分野においては、カメラ付携帯電話の如く、映像情報の活用が情報伝達のツールとして急速に普及してきております。当社はカメラモジュール、液晶モジュール、液晶駆動用のドライバICなどのキーデバイス・モジュールについて、部材販売や基盤実装などの受託型ビジネスに加え、当社グループで開発・アレンジした製品・部品による提案型ビジネスの拡大にも注力しております。

#### EMS(電子機器受託製造サービス)の差別化

メーカーの海外生産拡大の動きや、車載関連機器、通信関係モジュール等の製造技術・品質要求の高度化に対応して、約2年前からタイ、中国(東莞、上海)スロバキアなどの重点工場の整備拡充を行ってきており、順次稼働を開始しております。これら重点工場をコアに海外10箇所に製造拠点網を持つ当社EMSの強みを発揮して、部品調達から完成品物流に至る付加価値の高いビジネス獲得に努力しております。

## トピックス



2003年中間期

### ISO9001:2000を取得

2003年4月22日付けで、国際品質資格である、ISO9001:2000を取得いたしました。

ISO認証機関は、(株)日本環境認証機構(JACO)です。



デバイススタイルブランド製品の発売  
デザイン家電メーカーの株式会社デバイススタイルが、エスプレッソマシン、ワインセラー(1本用・6本用・12本用の3種類)等の新製品を3月以降相次いで発売いたしました。当社は、部材調達・生産・物流に関わっており、新しい完成品事業分野として取組んでおります。



エスプレッソマシン



ワインセラー6本用



ワインセラー1本用

### Sluzba SIIX及びSIIX EMS Dongguan、Takaya SIIXが工場拡張

当社連結子会社である、SLUZBA SIIX Electronics,s.r.o.(4月)及びSIIX EMS Dongguan Ltd.(6月)持分法適用会社であるTakaya SIIX Electronics(Shanghai)Co.,Ltd.(6月)の3工場は、業務拡大のための工場拡張を完了いたしました。

# 中間連結財務諸表

## 中間比較連結貸借対照表

科 目	当中間期 (H15年6月30日現在) 百万円	前中間期 (H14年6月30日現在) 百万円	前 期 (H14年12月31日現在) 百万円
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	25,437	24,642	27,448
現金及び預金	3,983	5,617	4,103
受取手形及び売掛金	14,932	12,994	15,196
たな卸資産	5,622	4,883	6,563
繰延税金資産	36	233	76
その他	1,354	1,325	1,932
貸倒引当金	490	412	424
<b>固定資産</b>	7,993	6,604	7,749
有形固定資産	4,948	3,689	4,834
無形固定資産	115	99	77
投資有価証券	1,541	1,469	1,402
繰延税金資産	496	442	655
その他	1,248	1,286	1,192
貸倒引当金	355	381	412
<b>繰延資産</b>	3		4
社債発行費	3		4
<b>資産合計</b>	<b>33,434</b>	<b>31,247</b>	<b>35,202</b>

科 目	当中間期 (H15年6月30日現在) 百万円	前中間期 (H14年6月30日現在) 百万円	前 期 (H14年12月31日現在) 百万円
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	21,632	19,468	22,973
買掛金	10,640	8,718	11,987
短期借入金	8,933	8,741	9,228
繰延税金負債	81	27	104
その他	1,977	1,981	1,652
<b>固定負債</b>	2,568	2,572	3,000
社債	300		300
長期借入金	1,701	1,832	1,867
退職給付引当金	211	427	391
役員退職慰労引当金	144	167	180
繰延税金負債		37	
その他	210	107	260
<b>負債合計</b>	<b>24,201</b>	<b>22,041</b>	<b>25,973</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>279</b>	<b>226</b>	<b>261</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	2,144	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853	1,853
利益剰余金	5,220	5,383	5,445
その他有価証券評価差額金	20	98	121
為替換算調整勘定	283	301	353
<b>資本合計</b>	<b>8,953</b>	<b>8,979</b>	<b>8,967</b>
<b>負債・少数株主持分・資本合計</b>	<b>33,434</b>	<b>31,247</b>	<b>35,202</b>

### 中間比較連結貸借対照表注記

	当中間期	前中間期	前 期
有形固定資産の減価償却累計額	2,900百万円	2,249百万円	2,528百万円
輸出手形割引高	65百万円	32百万円	81百万円
保証債務	43百万円	12百万円	47百万円

中間比較連結貸借対照表・中間比較連結損益計算書・中間比較連結剰余金計算書・中間連結キャッシュフロー計算書及び注記事項の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。連結財務諸表規則の一部改正を適用し、前中間期についても改正後の表示区分により表示しております。

## 中間比較連結損益計算書

科 目	当中間期 (H15年1月1日 - H15年6月30日) 百万円	前中間期 (H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	前 期 (H14年1月1日 - H14年12月31日) 百万円
売上高	47,334	43,762	90,818
売上原価	44,377	40,690	84,728
売上総利益	2,956	3,071	6,089
販売費及び一般管理費	2,710	2,509	5,141
営業利益	245	562	947
営業外収益	159	306	458
営業外費用	260	669	767
経常利益	145	199	639
特別利益	159		
特別損失	68	113	224
税金等調整前中間(当期)純利益	236	85	414
法人税、住民税及び事業税	305	232	401
法人税等調整額	115	182	135
少数株主利益( )又は損失	3	3	4
中間(当期)純利益又は中間純損失( )	187	38	152

## 中間比較連結剰余金計算書

科 目	当中間期 (H15年1月1日 - H15年6月30日) 百万円	前中間期 (H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	前 期 (H14年1月1日 - H14年12月31日) 百万円
<b>資本剰余金の部</b>			
資本剰余金期首残高	1,853	1,853	1,853
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,853	1,853	1,853
<b>利益剰余金の部</b>			
利益剰余金期首残高	5,445	5,383	5,383
利益剰余金増加高		38	152
中間(当期)純利益		38	152
利益剰余金減少高	225	37	90
中間(当期)純損失	187		
配当金	37	37	75
連結会社減少による減少高			8
その他の減少高			6
利益剰余金中間期末(期末)残高	5,220	5,383	5,445

連結財務諸表規則の一部改正を適用し、前中間期についても改正後の表示区分により表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当中間期 (H15年1月1日 - H15年6月30日) 百万円	前中間期 (H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	前 期 (H14年1月1日 - H14年12月31日) 百万円
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前中間(当期)純利益	236	85	414
減価償却費	444	343	705
連結調整勘定償却額	21	21	42
貸倒引当金の増加額	2	100	131
受取利息及び受取配当金	33	130	164
支払利息	97	104	190
為替差損	35	408	347
持分法による投資損失	66	66	118
売上債権の増減額	422	593	1,502
たな卸資産の増減額	1,014	621	2,288
仕入債務の増減額	1,660	1,272	1,635
厚生年金基金代行部分返上益	141		
その他	693	383	697
小 計	1,157	725	1,151
利息及び配当金の受取額	34	129	198
利息の支払額	92	109	207
法人税等の支払額	267	263	475
営業活動によるキャッシュ・フロー	831	968	1,636
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	233	230	1,682
有形固定資産の売却等による収入	31	2	4
無形固定資産の取得による支出	55	4	12
投資有価証券の取得による支出		46	166
投資有価証券の売却等による収入		35	36
出資金の払込による支出	60		
貸付けによる支出			2
貸付金の回収による収入	25	21	58
その他	0	9	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	290	231	1,747
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
社債の発行による収入			293
短期借入金の純増減額	1,187	2,442	2,852
長期借入れによる収入	725		69
長期借入金の返済による支出	144		34
配当金の支払額	38	37	75
少数株主への配当金の支払額			6
少数株主からの払込			31
その他	4		
財務活動によるキャッシュ・フロー	648	2,404	3,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	26	78
現金及び現金同等物の増減額	120	1,178	330
現金及び現金同等物の期首残高	4,066	4,401	4,401
連結の変更範囲に伴う現金及び現金同等物の減少額			4
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,945	5,579	4,066

## 中間単独財務諸表

### 中間比較貸借対照表

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H15年6月30日現在) 百万円	(H14年6月30日現在) 百万円	(H14年12月31日現在) 百万円
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	9,940	10,489	10,943
現金及び預金	1,034	1,013	1,325
受取手形	302	190	321
売掛金	6,912	6,996	7,409
たな卸資産	963	1,286	1,107
繰延税金資産	140	197	81
未収消費税等	321	303	388
その他	322	525	352
貸倒引当金	56	24	43
<b>固定資産</b>	5,533	4,887	5,046
有形固定資産	90	48	43
無形固定資産	58	6	6
投資その他の資産	5,384	4,832	4,996
投資有価証券	2,713	2,602	2,537
長期貸付金	1,192	792	860
繰延税金資産	445	435	612
その他	1,223	1,150	1,171
貸倒引当金	190	148	185
<b>繰延資産</b>	3		4
社債発行費	3		4
<b>資産合計</b>	15,477	15,377	15,993

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H15年6月30日現在) 百万円	(H14年6月30日現在) 百万円	(H14年12月31日現在) 百万円
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	7,381	6,929	7,565
買掛金	4,324	3,840	4,563
短期借入金	2,426	2,378	2,561
未払法人税等	38	16	3
未払費用	443	405	258
賞与引当金	56	53	55
その他	91	235	122
<b>固定負債</b>	1,820	2,427	2,670
社債	300		300
長期借入金	1,164	1,832	1,798
退職給付引当金	211	427	391
役員退職慰労引当金	144	167	180
<b>負債合計</b>	9,201	9,356	10,236
<b>資本の部</b>			
<b>資本金</b>	2,144	2,144	2,144
<b>資本剰余金</b>	1,853	1,853	1,853
<b>資本準備金</b>	1,853	1,853	1,853
<b>利益剰余金</b>	2,258	2,122	1,882
利益準備金	34	34	34
任意積立金	1,600	1,600	1,600
中間(当期)末処分利益	624	488	247
その他有価証券評価差額金	20	98	121
<b>資本合計</b>	6,275	6,021	5,757
<b>負債及び資本合計</b>	15,477	15,377	15,993

財務諸表等規則の一部改正を適用し、前中間期についても改正後の表示区分により表示しております。

### 中間比較損益計算書

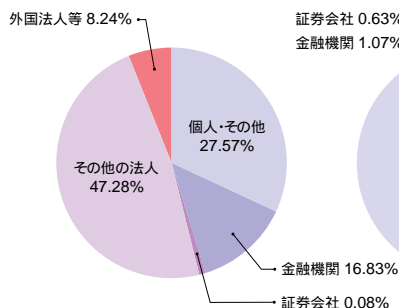
科 目	当中間期	前中間期	前 期
	(H15年1月1日 - H15年6月30日) 百万円	(H14年1月1日 - H14年6月30日) 百万円	(H14年1月1日 - H14年12月31日) 百万円
売上高	20,535	17,999	39,989
売上原価	19,705	17,318	38,416
売上総利益	829	681	1,573
販売費及び一般管理費	1,111	918	1,967
営業損失( )	282	236	393
営業外収益	757	641	684
営業外費用	53	168	218
経常利益	420	236	72
特別利益	141	61	61
貸倒引当金戻入益		61	61
厚生年金基金代行部分返上益	141		
特別損失	68	113	224
投資有価証券評価損	43	66	127
関係会社株式評価損	24		
和解処理損失			37
ゴルフ会員権評価損			12
貸倒引当金繰入額		47	47
税引前中間(当期)純利益または純損失( )	494	184	90
法人税、住民税及び事業税	75	9	18
法人税等調整額	5	37	81
中間(当期)純利益	413	212	9
前期繰越利益	210	276	276
中間配当額			37
中間(当期)末処分利益	624	488	247

# 株式の状況

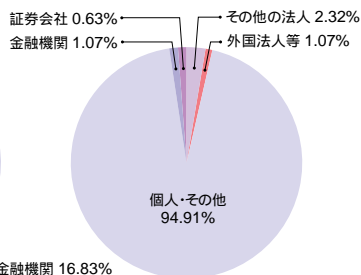
株式の状況（2003年6月30日現在）

会社が発行する株式の総数 ..... 20,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 6,300,000株  
 当期末株主数 ..... 1,120名

所有者別所有株数



所有者別株主数

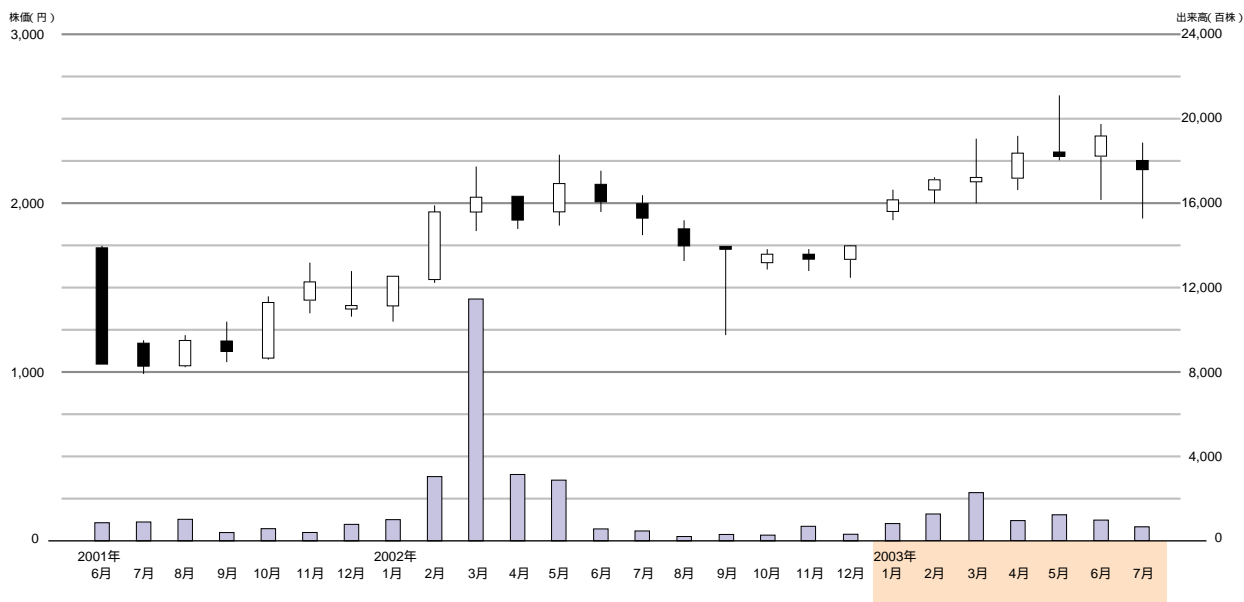


大株主（2003年6月30日現在）

株主名	所有株式数	議決権比率
	株	%
サカタインクス 株式会社	2,849,000	45.22
村井 史郎	450,000	7.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	308,200	4.89
ピーピーエイチ フォー フィデリティー	246,700	3.92
ジャパン スモールカンパニーファンド	220,000	3.49
株式会社 りそな銀行	200,000	3.17
バンク オブ ニューヨーク フォー	135,800	2.16
ゴールドマン サックス インターナショナル	106,200	1.69
シークス 社員持株会	90,000	1.43
株式会社 東京三菱銀行	82,400	1.31
投資信託受託者		
三井アセット信託銀行株式会社		

当社の当該大株主への出資はありません。

株価・出来高推移（2001年6月～2003年7月）



# 会社概要

## 会社概要（2003年6月30日現在）

商号	シークス株式会社
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
従業員数	143名
本社	大阪市中央区南本町1-8-14
東京事務所	東京都千代田区神田須田町2-7-3
URL	<a href="http://www.siix.co.jp">http://www.siix.co.jp</a>

## 役員および監査役（2003年6月30日現在）

代表取締役会長	村井 史郎	CEO(最高経営責任者)
代表取締役社長	村瀬 漢章	COO(最高執行責任者)
取締役	橋詰 研作	総務部、経理部、業務部、システム管理室担当兼経理部長、業務部長
取締役	大庭 勝躬	大阪営業部長
取締役	宮田 光雄	東京営業部長
取締役	戸上 幸一郎	デバイス営業部長
取締役	近藤 恒雄	経営企画部長、関連事業部長
取締役	吉田 泰	営業推進部長
常勤監査役	嶋井 節夫	
監査役	北村 玄一	サカタインクス株式会社 常勤監査役
監査役	肥田 久弘	サカタインクス株式会社 常勤監査役

監査役のうち、北村玄一氏、肥田久弘氏は、商法特例第18条第1項に定める社外監査役です。



## 関連子会社・事業所一覧（2003年6月30日現在）

関連子会社	主な事業内容
SIIX Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の輸出入販売
SIIX H.K. Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売
SIIX TWN Co., Ltd. : Taiwan	電子部品等の輸出入販売
SIIX Logistics Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
SIIX Logistics Singapore Pte. Ltd. : Singapore	電子部品等の物流
SIIX Bangkok Co., Ltd. : Thailand	電子部品等の輸出入販売
SIIX (Shanghai) Co., Ltd. : China	電子部品等の輸出入販売・物流
SIIX Europe GmbH : Germany	電子部品等の輸出入販売
SIIX U.S.A. Corp. : Illinois, U.S.A.	電子部品等の輸出入販売
SIIX Phils., Inc. : Philippines	電子部品等の輸出入販売
PT SIIX Electronics Indonesia : Indonesia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工

関連子会社	主な事業内容
SIIX EMS Dongguan.Ltd : China	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
SIIX EMS(Thailand) Co., Ltd. : Thailand	電子回路実装および機器・部品の組立・加工
Nansha Sakata Ink Corp. : China	印刷インキの製造販売
イスロン株式会社 : Japan	半導体の設計・開発
Sluzba SIIX Electronics s.r.o. : Slovakia	電子回路実装および機器・部品の組立・加工

## 事業所

SIIX U.S.A. Corp. San Jose Branch : Calif., U.S.A.
SIIX do Brasil Ltda. : Brasil
SIIX Corp. Seoul Liaison Office : Korea
SIIX H.K. Ltd., Shenzhen Liaison Office : China





## 株主メモ

---

決算期	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 そのほか必要のあるときは、 あらかじめ公告して定めた日
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
(インターネットページURL)	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
1単元の株式の数	100株
上 場 取 引 所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部

---